

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部・文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	リール第3大学
国	フランス
留学期間	2017年2月10日 ～ 2018年2月2日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
	起床・朝食
9:00	
10:00	
	自習
11:00	
	自習
12:00	
	昼食
13:00	
14:00	
	授業
15:00	
	授業
16:00	
	授業
17:00	
18:00	
19:00	
	夕食
20:00	
	自習
21:00	
22:00	
23:00	
	就寝
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
DEFI	15時間	-	フランス語	試験、授業時間内の小テスト、発表等
日本文学	2時間	-	フランス語、日本	レポート、フランス語での日本文学授業1時間+日本語での会話の授業

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	困った時の相談
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	DEFI 半年ごと

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Résidence Le Belvédère
部屋タイプ	1人1部屋
ルームメイト(国籍)	無
室内設備	勉強机、ベッド、冷蔵庫、暖房、クローゼット、キッチン、シャワートイレなど
共用施設	洗濯室、勉強部屋等
インターネット設備	有(寮内Wifi)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩5～10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	-

渡航	
Visaの種類	長期学生ビザ
Visa申請先	フランス大使館
Visa取得にかかった日数	約1ヶ月
Visa取得にかかった費用	約27000円(学生Visa 7000円+CampusFrance登録費 15000円+交通費 5000円)
Visa取得方法、提出書類等	・ビザ取得方法 ビザ取得前にネットを通じてCampusFranceの手続きを完了させた後、少なくとも出国予定日の3週間前までに東京のフランス大使館へ書類等を提出する(予約必須)・提出書類(申請書、証明写真1枚、パスポート、ビザ申請料金、移民局申請用紙など) フランス大使館HPを要確認
留学先大学の最寄り空港までの経路	中部国際空港から上海空港、乗り継いでシャルルドゴール空港まで
渡航費用	往復約13.5万円
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	就職活動や卒業論含む単位取得のため
就職活動開始時期	2018年春予定
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ=133.30円(2018/02/12現在)
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約20万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	三重大学学費のみ
宿舍費(月額)	276.5ユーロ
光熱費(月額)	宿舍費に含まれる
食費(月額)	約125ユーロ
その他	通信費月約20ユーロ、大学保険1年(2月留学なので2年分支払った)
留学期間中にかかった費用の合計	約10万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

半年間はDEFIという大学内の外国人向けのフランス語授業を受け、もう半年間は日本語学科のマスターの授業を聴講生という形で参加しました。フランス語は第二外国語として今まで授業を受けてきたので語学力がゼロであったわけではありませんでしたが、それでもほとんどは文法などの知識しかなかったため、実際に話せるというレベルに達するため留学を決意しました。初めは全くフランス語を聞き取ることができず、テストを受けて自分に適したレベルであるはずのフランス語の授業でも、文法は理解するのに聞き取りができない、自分から話そうにも会話ができない、といった状態で、私にとっては知っている単語などを実際に口にして身につけるということがかなりの難関でした。そうして、最初の半年間はDEFIの授業を通して、色んな国から来たクラスメイトと共にフランス語の上達に努めたり、また異なる文化について考え議論したりもしました。ただ、その時点でなかなか現地フランス人との交流があまりなかったため、正直なところあまり満足できていませんでしたが、その後半年は先生方の協力をいただいて、日本語学科のマスターの授業に参加したり、芸術を学ぶ学生と共に「語り」「ダンス」「音楽」などの授業にも参加させてもらいました。もちろんフランス語での日常的な会話の上達にも繋がりましたが、何よりも授業を通じてフランス人と日本人(あるいはヨーロッパ人とアジア人)の違いについて話したり、考えるきっかけになったり、留学したからこそ分かる発見をいくつもできたように思います。

授業外ではアニメ、漫画やゲームなどを主とした日本の文化を紹介するイベントにいくつか参加し、実際に海外で日本の文化がどのような反応を得ているのか直接的に感じることができました。日本のあらゆるものが海外でどう評価されているのかを一言で表すのは難しいですが、少なくとも一定数の人々はかなり興味を持っていると言えると思います。半年間週に1回、地元の絵画教室にも通っていましたが、日本の筆を愛用している方もいました。

それからリールの街は穏やかな人が多い印象で、パリほど都会でもなく落ち着いた雰囲気の良い住みやすい町でした。やはり魅力的なのが、フランスの北部、ベルギーとの国境付近の街ということで、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクなどの国にも日帰りで行くことができ、またフランスといえばワインというイメージでしたが、この街ではビールが主流であったため、こういった地域ごとによる特徴によって、一つ違ったフランスの味わい方ができたと思います。

海外旅行経験すらなく、このフランスへの1年間の留学が私の初海外で、私にとってはかなり大きな挑戦でしたが思っていたよりも1年という時ははやく過ぎて行きました。全てが上手くいったとは決して言えず、後悔することや嫌な経験もありましたが、それもこうして留学したおかげで得られた経験であり、これからの自分にとっての糧となると思います。それに何よりもここに当然書ききれないほど多くの今までの人生で得られなかった貴重な体験もできましたし、日本から飛び出してみたことによって新たな仲間との出会いもできました。周囲にもかなり迷惑をかけましたが、これからその恩返しができるよう様々なことに挑戦していきたいと思います。ありがとうございました。

今後留学する人へのアドバイス

留学するかどうかわ迷っている人がいたら、私は間違えなくした方が良く勧めます。留学1年間するだけで、日本にいる何倍かの大きな経験が得られるからです。ただ、必ず留学前に考えなければならないのは何を目的として、目標として海外へ飛び出していくか、です。それがどんな目的であれ構わないと思います。留学している間は必ずどこかで悩むことがあります。自分が最終的にどうなりたいか、それをきちんと決めておけば海外でも歩いて行けるでしょう。それから、忘れないでほしいのは、海外に行くと色んな事に挑戦しようと意気込んでいくと思いますが、全てを自分で何とかしようと思わないことです。家族、友達、先生に頼ってください、というよりも普段日本で生活しているよりも頼らざるをえない状況に何度もなると思います。私は普段から人に頼ることが苦手な方でしばらくそのことで悩んでいましたが、仕方ないと思って割り切るしかありません。だからその代わりに留学中は思う存分チャレンジしたり、留学した後に精一杯お返しすれば良いと思います。

報告書記入日

2018年2月12日